

豊後高田市から陸前高田市へ「心の絆」を届ける！

～「TMKチャレンジクラブ」善意の支援活動～

大分県クラブ育成アドバイザー 土谷忠昭

支援へのキッカケ

「3・11、東日本大震災」それは、これまで多くの人々が経験したことのない未曾有の災害でした。廃墟と化した悲惨な被災地の状況には、全世界から暖かい善意の支援が寄せられていることをマスコミを通じて知りました。

大分県の「豊後高田市」と被災地の一つ「陸前高田市」「大槌町」「七ヶ浜町」は、過去、チャレンジデー（毎年5月の最終水曜日に世界中で実施されている、住民参加型のスポーツイベント）で友好関係にありました。この状況に豊後高田市の人々は、いち早く支援の活動を開始しました。

豊後高田市唯一のTMKチャレンジクラブでもクラブとしての支援策を検討し、「心の絆」を届けることにしました。成重マネジャーを中心に義援金や日常生活物資集めに奔走し、多くの人々の賛同を得ました。豊後高田市でも、市役所を中心に市全体の支援活動が展開されました。

支援の内容

支援は被災直後の支援から、継続的な支援まで幅広いことが必要ですが、今回チャレンジクラブの支援活動としては、各教室やイベントでの義援金箱の設置、日常物資の収集の2つの活動を中心に実施しました。

これらの善意を市役所の「がんばろう東北」のトラックに積み込んで陸送で陸前高田市まで運びました。また、SCおおいだネットを通じて義援金を送りました。



支援物資を送るトラック



義援金の募金活動中のクラブ会員

支援で感じたこと

今回の災害を風化させないためには、続けることへの情熱、忘れないことが大切であり、今後も支援活動を続けることです。しかし、クラブ運営に無理な支援でなく、続けられる支援を送ることだと思います。

【TMKチャレンジクラブ プロフィール】

- 1. 設立** 年月日：平成 18 年 3 月 29 日、平成 23 年 12 月 6 日 NPO 法人認可
- 2. 地域** 人口：約 24,000 人（平成 23 年 11 月現在）
特性：「昭和の町」としても全国的に有名になる。「スポーツの町」を目指す。クラブハウス（B & G 真玉海洋センター）に併設された「カヌー場」を利用したカヌー教室やカヌー祭りが特徴である。
- 3. クラブ** 会員数：370 名（平成 23 年 12 月 7 日現在）
予算規模：952 万円（平成 23 年度）
- 4. 連絡先** 〒872 -1101 大分県豊後高田市中真玉 6636 番地 B & G 真玉海洋センター内
TEL・FAX：0 9 7 8 - 5 3 - 4 7 3 3
クラブマネジャー 成重晴雄氏

関連リンク：「チャレンジデー」とは

http://www.ssf.or.jp/challenge/about_chal.html

関連リンク：土谷忠昭氏プロフィール

<http://www.japan-sports.or.jp/local/outline/adviser/44.html>